

IX Collins機能の継承

平成27年12月9日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

1. Colins 機能の継承について

Colins (Container Logistics Information Service : コンテナ物流情報サービス) 機能の継承に係る経緯等は、以下 2. 及び 3. のとおりであり、今後の対応については、4. のとおりとする。

区 分	概 要
1. 個別検討事項	Colins 機能の継承について
2. 現行仕様	<p>Colins は、平成21年度から実施された「コンテナ物流の総合的集中改革プログラム」における港湾物流情報化推進のためのモデル事業の実証実験として国土交通省港湾局が開発・運営してきたものである。</p> <p>ターミナルオペレータ (CY)、荷主、海貨業者、運送事業者 (陸運) 等の関係事業者間で、コンテナ物流情報を共有化する情報システムであり、3年間の実証実験期間が終了した現在も、国土交通省港湾局が運営を行っている。</p> <p>〈 主な機能 〉</p> <ul style="list-style-type: none">① 混雑ウェブカメラ画像 (CY等の港頭地区に設置したウェブカメラ画像の提供)② ゲートオープン時間情報③ CY 搬出可否情報④ 船舶動静情報 (AIS 情報等に基づく船舶位置情報)
3. 見直しの経緯 (利用者の要望等)	<p>平成25年6月25日に閣議決定された「総合物流施策大綱 (2013-2017)」において、「NACCSへのコンテナ物流情報サービス (Colins) 機能の反映や、これらが有する貨物情報の充実・活用促進を図り、NACCSを国際物流情報基盤の中核システムに育成する。」とされている。</p>
4. 次期仕様 (案)	<p>Colins 機能の継承については、国土交通省との間でColinsの機能や利用状況等の詳細な確認などを行い、具体的な継承のあり方について検討を進めてきたところ。</p> <p>他方で、平成26年8月に日中韓の物流大臣会合で合意された3か国間でのコンテナ物流情報の相互提供システムである「NEAL-NET」機能が本格展開されており、Colinsが日本からの情報提供のための中核システムを担う状況となっている。</p> <p>このように大綱の決定当時とは異なる検討課題も生じており、具体的な継承の方法等については、引き続き国土交通省との間で協議を進めることが必要な状況となっている。</p> <p>このため、本件については、第6次NACCSの利用には影響を与えない形で整理することとし、WGにおける検討課題の対象とはしないこととする。</p>

2. 【参考】NEAL-NETについて

「NEAL-NETによるコンテナ物流情報提供サービス」の開始に係る国土交通省の報道発表資料（抜粋）

平成 26 年 8 月 25 日
総合政策局国際物流課
港湾局港湾経済課

NEAL-NET によるコンテナ物流情報提供サービスを開始しました！ ～日中韓3国間でのリアルタイムのコンテナ物流情報が取得可能に～

第3回日中韓物流大臣会合（平成22年5月）において合意されたNEAL-NETの枠組みの下、日中韓の共同プロジェクトとして進めてきた3国間でのリアルタイムのコンテナ物流情報の共有を可能とするコンテナ物流情報提供サービスについて、運用を開始いたしました。詳細は下記の通りです。

記

1. 概要

平成22年5月に行われた第3回日中韓物流大臣会合において、3国の物流情報を共有するため、北東アジア物流情報サービスネットワーク（Northeast Asia Logistics Information Service Network (NEAL-NET)）を構築することが合意されました。

この合意に基づき、日中韓共同でプロジェクトを推進してきましたが、この度、国土交通省港湾局が開発・運用しているコンテナ物流情報サービスシステム「Colins」と中国の「LOG-INK」及び韓国の「SP-IDC」を接続し、3国間でのコンテナ物流情報提供サービスを開始しました。

本サービスの開始により、荷主やフォワーダー等はインターネットを通じて海上コンテナに係る日本と中国及び韓国の情報がタイムリーに把握できるため、貨物の所在位置確認等に係る業務の削減や過剰在庫の削減等が期待できます。

2. 情報提供内容

本サービスの開始により、日本、中国、韓国の主要な港において、「①コンテナ船の到着・出発時刻」、「②コンテナの船積み・船卸し時刻」、「③コンテナのゲートイン・ゲートアウト時刻」に関する情報をリアルタイムで取得することが可能となりました。

3. サービスの利用方法

コンテナ物流情報提供サービスは、Colins ホームページ (<https://www.colins.ne.jp/>) にて NEAL-NET 会員への登録完了後、利用を開始することができます。

- 従来、荷主や物流事業者は港湾に預けた貨物の所在や予定との乖離（早着、遅延）を個別に電話やFAX等で確認していたため、貨物輸送に係る配車や在庫管理の支障となっていた。
- このため、日中韓の3カ国は、荷主や物流事業者が各国の主要港におけるコンテナ物流情報をタイムリーかつ効率的に把握できるようにするため、平成22年にコンテナ物流情報の共有を行う「北東アジア物流情報サービスネットワーク（NEAL-NET）」の構築に合意し、物流情報提供サービス開始に向けた取組を進めてきたところである。
- 本サービスの開始により、日本、中国、韓国の3カ国間において、①コンテナ船の到着・出発時刻、②コンテナの船積み・船卸し時刻、③コンテナのゲートイン・ゲートアウト時刻に関する情報の取得が可能となった。

※ NEAL-NET: Northeast Asia Logistics Information Service Network の略称

物流情報の可視化のイメージ

Colinsにより可視化が進んでいた部分： NEAL-NETによるコンテナ物流情報提供サービスにより、我が国で新たに可視化が可能となった部分：



NEAL-NETのイメージ

